

浜松観光ボランティアガイドの会

新年の御挨拶



「おもてなしの心と感謝の心」で!

浜松観光ボランティアガイドの会 副会長 鈴木猛二 (南ブロック)

明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃よりガイド活動をはじめ、会の各種行事や運営に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年を振り返ると、夏季の熱中症対策のために、浜松城や浜松駅の活動を19日間、中止とさせていただきます。皆さま方には大変なご迷惑ご心配をおかけいたしまして、申し訳ございませんでした。また、犀ヶ崖資料館10周年の記念イベントとして、「記念歴史講座」、「記念ウォーク」を開催しました。遠州大念仏・犀ヶ崖近隣の家康公ゆかりの史跡、伝承話を交えたガイド、戦国時代の浜松に想いをよせるウォーキングを、成功裏に終えることができました。ご協力ありがとうございました。

さて、本年も1月12日から始まる「観光ボランティアガイド新人養成講座」を皮切りに、「富

士山の日記念ウォーク

「ふるさと講座」など、様々な事業が計画されていますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。本年も大河ドラマに縁あり。『豊臣兄弟!』が放映されます。松下屋敷は、少年時代の秀吉が奉公した場所で、付近には鎌研池・目刺橋などがあります。縁を求めて、浜松市にも多くのドラマファンが訪れると思いますので、おもてなしの心でお客様をお迎えください。

最後に、ガイド活動は「明るく・楽しく・やらまいか」の心意気で、お互いに協力し合って取り組みましょう。また、一人ひとりがより研鑽を積み「おもてなしの心と感謝の心」でお客様をお迎えし、当会に新たな歴史を刻んでいきましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



観光関係表彰式・賛助会員の集い

浜松・浜名湖ツーリズムビューロー主催の「令和7年度観光関係優良従業員表彰式・賛助会員の集い」が12月4日(木)オークラアクトシティホテル浜松にて開催されました。当会からは13期の山中慎一郎さん(南ブロック)、森静子さん(中ブロック)が表彰されました。全部の表彰者は7団体15名でした。表彰者には賞状と記念品「遠州綿紬の扇子」が贈られました。その後、「賛助会員の集い」の講演会と交流会がありました。講演会は長門湯本温泉まち(株)木本隼斗氏が「温泉街リノベーション～公民連携&星野リゾートで挑む“オソト天国”長門湯本温泉の10年～」の演題で、山口県にある斜陽の温泉街がコロナ禍から官民が協力して復活したサクセスストーリーでした。表彰された二人は「この歳になって表彰されることはとてもうれしいです。今後も当会の活動を各方面にPRして、観光客に喜んでいただけるように頑張りたいです」と話していました。

事務局長 春日康治 (西ブロック)

財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー
度 観光関係優良従業員表彰式・会



表彰された山中慎一郎さんと森静子さん



ジャンボ干支 (島田市大代)

27期生 フォローアップ研修&懇談会

12月6日(土)、冬曇りの風が穏やかな朝9時に、今年入会の27期生11名が浜松城大手門跡に集合し、新人として最後のフォローアップ研修会が、研修部の鈴木部長と桶田さんの案内で開催されました。



大手門跡に集合し研修会スタート

研修コースは、集合場所の大手門跡→五社前通り経由で五社神社・諏訪神社鳥居前→金山神社→大堀通り経由で松尾神社→昔の東海道経由で法林寺→田畑政治生家跡、そして懇談会の会場となっている浜松福祉交流センターがゴール。

金山神社から松尾神社へ向かう大堀通りの途中、



松尾神社で説明に聞き入る会員

水が流れていない水路に掛かっている小さな橋を渡るときに、これは昔の外堀跡だとの説明を受け、ある研修者は、「お城でガイドしている時

に観光客から、浜松城にはお堀が残っていないのがちょっと残念ですと言われたことがあります、今日

は外堀跡がどこにあるのか実際に見られて良かった」と話していました。

懇談会の会場に、予定通り10時20分に入るとお茶の用意があり、三方ヶ原の戦いで敗走した家康ゆかりの伝説を聞きながら、それにちなんだお菓子をいただきました。

懇談会は、会長あいさつと参加者全員の自己紹介に続いて、27期生全員が、これまでのボランティアガイド活動の感想を発表しました。少し紹介すると、「ベテランの方から知らない話が聞けて知識が深まり人とのつながりが広がった」



懇談会の様子

「観光客の方と話をすることで自分自身の勉強にもなった」「ガイド中わからないことがたくさんあり、歴史や浜松の観光のことをもっと勉強しなければいけない」などがありました。

役員からは、「自分の得意分野を生かし、自分のやれる範囲で、もっと気楽に話をし、長くやれば必ず知識は身につきます。最後に、27期生の今後の活躍をとにかく期待しています。専門部にどんどん入会を！」との話がありました。

広報部 伊藤英典(東ブロック)

第2回 犀ヶ崖資料館 10周年記念ウォーク

犀ヶ崖資料館10周年を記念して、資料館周辺の史跡を歩いてまわるウォーキングイベントを12月21日(日)に行いました。今日は雨の日は少なかったのですがこの日はあいにくの雨。小雨降りしきる中、27名(市内20名、市外4名、県外3名)の参加者が3班に分かれて、ガイドとともに浜松城公園からウォーキングをスタートしました。

傘を握りしめ、まず旧奥山線の線路跡を歩いて犀ヶ崖資料館へ。途中トンネル内では傘を降ろすことができ、ほっとできました。資料館に着いて館内見学とビデオ鑑賞を行い、



犀ヶ崖資料館に到着

再び傘を差して外へ。犀ヶ崖公園内の見学後は古地図に残る真向(まっこう)坂を下り、中沢町の火ともし山(推定地)を横目に浜松八幡宮へ。浜松八幡宮では雨がしとしと降る中で結婚式が行われていました。その後は悲劇の女城主お田鶴の方を祀る椿姫観音を見学して元城町東照宮へ。旧曳馬



椿姫観音前にて

城だった境内にある家康公と秀吉公の二公像の由来についてガイドが説明しました。最後は出発地点の浜松城公園に全員無事帰着し、約2時

間半、5キロを越える道のりの記念ウォークイベントが終了しました。

終了後参加者からは「もっとゆっくり話を聞きたかった」「雨だったが楽しかった」「また参加したい」などの感想が聞かれました。ウォークの最中も「椿姫観音がこんなところにあるんだ!」「史跡の看板などは歩かないと気が付かないよね」などの声がありました。止まない雨の中、いつも以上に安全に神経を使ったガイドの皆さん大変お疲れさまでした。参加者の一人から、「そういえば何の10周年ですか?」と聞かれた時はちょっとずっこけましたが、今後も私たちの大切な犀ヶ崖資料館のPRのために頑張ってみましょう。

広報部 都築厚好(北ブロック)

会員の交流広場

人生節目の世界一周クルーズ旅行

昨年の3月に定年を迎え、それを機に会社人間としての人生から少し変化を加えた生き方へと新しいことにチャレンジを開始しました。ボランティアガイドに参加したのもその一部ですし、同時に4月よりクルーズ船での世界一周旅行に出て、特別な時間を過ごしました。4月から8月までの長旅となり家を不在にすることから、長く欠席となるガイドの会の皆さん、郵便物や納税など頼んだ親戚に迷惑かけることになりました。

さて、クルーズはフランス、ドイツ、ベルギー、ノルウェー、アメリカなどの20寄港地に寄り、そこでの観光内容は各人に任せられる形式のものでした。自分たち夫婦の例でいえば、ニューヨークでは二日間の寄港日うち、半日は旅行会社の夜の摩天楼ツアーを申し込み、残りの一日半は二人で市内を地下鉄と徒歩で自由に歩き回りました。限られた時間でより多くのものを見てやろうとスマホ片手に2~3万歩は歩くのが、ツアーに参加した人たちの常識でした。写真はスマホ



モン・サン・ミシエル修道院

とカメラ合計でクルーズを通して一千枚超えての撮影となりました。

世界遺産モン・サン・ミシエル（フランス）は、海に浮かぶ不思議な修道院で、年月をかけて増改築を重ねた重厚な建築物に圧倒されました。ちなみに隣にいるのは家内で、今回の旅行の最高の相棒で、こんな格好で二人で世界を歩き回りました。

ニューヨークのブルックリン橋は徒歩で渡りました。とにかくニューヨークは見るものが多いので時間のなさに心底焦りました。

現在、元の会社に復職して忙しく働いています。旅行は楽しかった記憶しかありませんがゆっくり振り返る時間ありません。しかし、一緒に旅行をした仲間、旅先で見たもの、話した現地の人たち、その時自分が感じたこと、それらがゆっくりと混ざり合い化学反応を起こして自分自身がその前後で少し変われたら、人生の大きな節目になると思います。



ブルックリン橋

北ブロック 山下勝之

会員の交流広場

久保田藩(秋田藩)から浜松藩

新年明けましておめでとうございます。

私は、佐竹氏が治めていた旧久保田藩で生を受け、徳川家康が掘削した神田駿河台で学び、織田信長の尾張、豊臣秀吉の大坂、外様大名の多い中国、四国、九州と戦国武将のように企業戦士として走ってきました。

定年を迎え気候温暖な浜松を終のすみかとして移り住み、昨年で10年経ちました。この地の東西南北で説明する道案内や、地名、文化等々興味を持っていたところこの会を知り、入会后(21期入会)理解を深めながら今日に至っております。

入会2年目に研修部と関わり、またガイド活動の中で徳川家康と城について興味を持つようになりました。お城に至っては、現存の12天守閣の制覇を目標に掲げ昨年までに10天守巡ることができました。城内には当時造られた石垣、櫓、土堀の一部が残っていたり、天守には、入母屋破風、千鳥破風、唐破風などの装飾のある天守もあり、威厳のあるたたずま



三大小城の一つ備中松山城

いに圧倒され、何度でも訪れたい魅力を感じました。残すは松本城、弘前城の2城。今年中の制覇を新年の目標に掲げています。

家康については、今川、織田、豊臣に仕えたことで、自分の性格や立場をわきまえて自分が生き残るにはどうしたらいいかを考え、乱世を生き残るために自分より優れている者を使い、自分の至らない点を補う寛容さ持ち合わせています。そして、情報の表と裏を読み取る事を常に考えている武将であると勝手に解釈しています。奥深い人物で、家康の都市計画、軍備、外交、制度設計等々、興味は尽きません。私は、国のリーダーはそれぞれの分野で優れている人を使い、情報の表と裏を読み取り、100年先の繁栄の為の国造りができる人材が求められると思います。まさに現代は徳川家康の様な人材を必要としているように感じます。



天守と本丸御殿が現存する高知城

南ブロック 岩城 豊

中ブロックミニ研修 家康・築山御前・信康ゆかりの寺社巡り

12月10日(水)に岡崎の寺社巡りを中ブロック17名、他ブロック2名の計19名で行いました。9時に豊橋駅の名鉄ホームに集合でしたが、はじめての方も多く待ち合わせ場所で右往左往する会員もいて、予定時刻5分前に全員集合。無事15分発の電車に乗れました。ここで先行き不安を感じたのか、この日のスケジュールはハイスピードで移動していきます。

9時36分に東岡崎駅に到着。徒歩5分の龍海院へ。ここは別名「是之字寺(ぜのじでら)」といわれ、松平清康公がみた「是の字を握る」夢和尚に占ってもらったところ、「是」の字を分解すると「日・下・人」となり「天下を取ることなり」と答えて喜んで建立されたことがいわれとされています。大変立派な墓所には家康公ゆかりの方の墓が祀られていました。そこから徒歩8分の六所神社へ。

松平家・徳川家が崇敬し、現在も「安産の神様」として信仰されている神社で、5万石以上の大名だけがあがることの許された石段を登ると国の重要文化財に指定されている極彩色の楼門に立派な社殿が現れ、皆その美しさに感嘆していました。

もと来た道を戻りつつ東岡崎駅近くに家康公像をみつけ、意気揚々と急ぎ足で向いましたが、そこはまだコースの後半予定地。後ろ髪をひかれながら先に乙川を渡って祐傳寺へ。ここには「築山御前の首塚跡」が、さらに10分ほど歩いてまだ紅葉のきれいな若宮八幡宮には「信康公の首塚」が、非業の死を遂げた家康の妻子の首塚はともに岡崎宿にありました。

ここでようやく先ほど見かけた東岡崎駅に戻って日本最大級の騎馬像の前で集合写真を撮ることができました。駅構内にある寿司屋さんで昼食。急ぎ足で回ったのでお腹もすいていたせいか、予定より早く昼食を取り終わり、次の目的地に向かうため名鉄で本宿駅へ。普段電車に乗る会員ばかりではないので、ここで少し切符を買うのに手間取ることもあり、ぎりぎり1分前に乗車でき無事みんな揃って目的地の本宿へ。



家康騎馬像前

そこから歩いて15分の法蔵寺は家康公幼少時に学問に励んだとされる寺で、多くの文化財が現存し、三方ヶ原の戦いで家康公の身代わりとなった夏目次郎左衛門吉信の墓もありました。

修復された東照宮は控えめな佇まいで本殿を見下ろす高台にありました。ここは家康公が元康時代に戦勝・開運祈願に訪れた場所でした。歴史の狭間を垣間見ながら、今回の研修はここで終了となりました。予定時刻1時間半早い14時頃解散しましたが、ほぼ10キロの移動により、ある会員は17,600歩を記録した見どころいっぱいの旅でした。

広報部 久保田絢子(中ブロック)

12月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター(浜松駅構内)」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

2日	火	阪急交通社	35名
3日	水	阪急交通社	35名
6日	土	知多半島ケーブルネットワーク	17名
6日	土	東海道五十三次・街道を歩く	18名
14日	日	四日市市・個人	6名
19日	金	東海道五十三次・街道を歩く	41名

《浜松まつり会館》

3日	水	シニアクラブ牧之原	32名
9日	火	浜松市立中瀬小学校	124名
13日	土	高山部会	13名
21日	日	渡辺昭司 後援会	107名
《同行ガイド》			
8日	月	個人 北回りコース	1名

はままつ案内人会報 282号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会
 〒430-0946 浜松市中央区元城町 100-2 (浜松城内)
 TEL 053-456-1303
 メールアドレス mail@hama-svg.jp
 ホームページ https://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人

検索



家康公ゆかりの地